

JD クレジットとは（概要） -特許申請中-

■ 1. ボランタリークレジットとは

ボランタリークレジットとは、法律による義務ではなく、企業や個人が自主的に行う環境保全活動の成果を「見える化」し、第三者が認証する仕組みです。

現在は主に CO₂の削減・吸収量を評価するカーボンクレジットが中心です。

■ 2. 従来型クレジットの課題

- ・ CO₂中心で、水循環が評価されていない
- ・ 日本の森林特性（多雨・人工林・山と海の近さ）が活かされていない
- ・ 人口減少地域や一次産業の再生につながりにくい

■ 3. JD クレジットとは

JD クレジット（Japan Do-anywhere Credit／日本どこでもクレジット）とは、

森林整備による CO₂吸収量に加え、蒸散量を抑制することで生まれる

水循環の回復効果を同時に評価・認証する、日本発の新しいボランタリークレジットです。

■ 4. 最大の特徴

① 木を切ることで水を創る

過密な人工林を適切に伐採・間伐することで蒸散量が減少し、
地下水・湧水が増え、川から海へ安定的な水循環が回復します。

② CO₂＋水循環を同時に評価

気候変動対策と水政策を同時に進められる、世界的にも珍しい仕組みです。

③ 日本の課題を価値に変える

放置森林、磯焼け、林業・漁業の衰退、人口減少といった課題を、クレジットとして経済価値に転換します。

■ 5. 期待される社会的効果

- ・ 豪雨災害の緩和、渇水リスクの低減
- ・ 磯焼けの改善と海女・漁業の再生
- ・ 山間部の冷却効果によるエネルギー負荷低減
- ・ 林業雇用の創出と地域 GDP の下支え

■ 6. 国に伝える意義

日本は世界有数の森林・水資源国でありながら、水の価値は制度化されていません。

世界で水クレジット市場が拡大する今、日本主導の制度設計が必要です。

JD クレジットは、環境政策・水政策・地方創生を同時に実現できる仕組みです。